

国民経済計算部会の審議状況について（報告）

第1回 国民経済計算部会結果概要

1 日 時 平成19年11月26日(月) 17:05~18:35

2 場 所 第4合同庁舎2階 第3特別会議室

3 出席者

(委員) 吉川部会長、大守委員、出口委員、野村委員、舟岡委員、高木臨時委員、中村臨時委員、藤井臨時委員、岩本専門委員、作間専門委員、橋本専門委員、深尾専門委員
(審議協力者) 竹内統計委員会委員長、ホリオカ大阪大学教授、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本銀行
(事務局) 中島内閣府統計委員会担当室長、黒田経済社会総合研究所長、広瀬次長、飛田総括政策研究官、大脇国民経済計算部長 他

4 議 題

- (1) 部会長代理の指名について
- (2) 専門委員会の設置について
- (3) 専門委員会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員の指名について
- (4) 国民経済計算の推計精度の向上に向けた取組について
- (5) 平成18年度国民経済計算確報について
- (6) 今後の審議課題等について

5 概 要

【議題1： 部会長代理の指名について】

大守委員が指名された。

【議題2： 専門委員会の設置について】

【議題3： 専門委員会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員の指名について】

国民経済計算部会の下に、専門委員会として、

勘定体系・新分野専門委員会

生産・支出専門委員会

財政・金融専門委員会

ストック専門委員会

を設置することを決定し、委員の所属等について部会長から指名があった。

【議題4： 国民経済計算の推計精度の向上に向けた取組について】

事務局から、国民経済計算の推計精度の向上に向けた取組として、速報(QE)における供給側出荷額推計の品目を分割するという案が説明され、質疑応答が行われた。

(具体的には、「特殊産業機械」の中から「掘削機械」を、「その他の製造工業製品」の中から「電子応用玩具」を分割して推計。)

主な意見は以下のとおり。

- ・ 推計方法を変えることによってどの程度改善したのか、今後の部会において、具体的な改善幅を示されたい。

【議題 5：平成 18 年度国民経済計算確報について】

事務局から、今後公表される平成 18 年度国民経済計算における推計手法等の変更として、「政府諸機関の格付け（部門分類）の変更」「雇用者の労働時間推計方法の改善」について説明があり、質疑応答が行われた。

主な意見は以下のとおり。

- ・ SNA と産業連関表、公会計において、公的機関の格付けがそれぞれ異なるのは問題であり、統計委員会の場において、相互調整を行っていくべき。

【議題 6：今後の審議課題について】

今後の審議課題について、事務局から案が示され、質疑応答が行われた。

主な意見は以下のとおり。

- ・ SNA 全般に関するような問題については、各専門委員会だけでなく、他の専門委員会との合同会議等、横断的に検討できる場を設けて欲しい。
- ・ 一次統計に対する意見・要望等も部会で検討し、統計委員会へフィードバックして欲しい。